

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2020年2月3日 発行

## ■ 本号の内容

- 廃炉の実施に係る安全協定を締結しました
- 発電所の業務をご紹介します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 連携を大切に消火訓練を実施しています
- 発電所データBOX



白鳥が飛来した上繁岡大堤（楢葉町）撮影日：2020年1月11日

# 廃炉の実施に係る安全協定を締結しました

当社は福島第二原子力発電所の廃炉作業を安全かつ着実に進めるため、2019年12月26日、福島県、楡葉町および富岡町と「福島第二原子力発電所の廃炉の実施に係る周辺地域の安全確保に関する協定書」を締結しました。

また、福島県および当所周辺市町村\*と「福島第二原子力発電所の廃炉の実施に係る周辺市町村の安全確保に関する協定書」を締結しました。

両協定に基づき、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、具体的な廃止に係る各種手続きを進めてまいります。

また、適切な情報公開を通じて、地域の皆さまの安心につながる安全かつ着実な廃炉作業を進めるとともに、地域の振興にも寄与できるよう取り組んでまいります。

\*周辺市町村 いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

## ■協定の概要

### ●施設の新増設等に対する事前了解・事前説明

廃止措置計画の認可申請（変更の場合含む）を伴う施設等の新増設、変更または廃止をしようとするときは、福島県、楡葉町および富岡町に対し事前了解を得ること、周辺市町村に対しては、事前説明することを規定。

### ●廃炉安全監視協議会\*による安全確認

廃炉安全監視協議会は、廃炉に係る安全確保の取組みを確認することとし、立入調査、状況確認を行うことができることを規定。

\*福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会

### ●適切な措置の要求

福島県、楡葉町および富岡町または廃炉安全監視協議会は、必要に応じ廃炉に向けた取組みの安全確保のため特別の措置を講ずることを求めることとし、当社は速やかにこれに応じることを規定。

## 廃炉作業着手までの主な流れ

### ▽廃炉決定

#### ▼廃炉会計の申請（電気事業会計規則等）

承認  
(経済産業省)

▼発電事業変更届出書の届出  
(電気事業法)

安全協定改定（廃炉協定）  
に係る県・立地町との協議

▼締結

廃止措置計画 申請書の作成

▼廃止措置計画の申請  
(原子炉等規制法)

審査  
(原子力規制庁)

保安規定変更 申請書の作成  
(新検査制度に伴う変更認可後、廃止措置に伴う変更予定)

▼保安規定変更の申請  
(原子炉等規制法)

審査  
(原子力規制庁)

### ▽廃炉着手

廃炉作業

2019年  
7月31日

9月30日

12月26日



# 発電所の業務をご紹介します

今回は 所長付 です

所長付では、安全な発電所運営に向けて、各部署の業務が計画に沿って的確に遂行されているかを確認する会議を毎月開催しています。

また、福島原子力事故の反省と教訓を風化させないための振り返りや内部コミュニケーションの強化、所員の働きがいを高めるための取組みなどを企画しています。



次年度の業務計画の策定会議



全社員での福島原子力事故の振り返り

## 福島原子力事故の反省と教訓を風化させない

私は業務計画の策定や業務の進捗管理をする会議の事務局を担当しています。

各部署の業務の進捗を毎月の会議で確認し、成果が十分に出ていない活動に対して、早い段階で軌道修正を図ることで、安全な発電所運営が出来ていると感じています。

また、毎年3月11日には福島原子力事故の反省と教訓を風化させないための取組みを企画しています。全社員が当時の状況を振り返り、一人ひとりが今後どう行動すべきかを考えます。

引き続き、「福島の復興」が私たちの原点であることを忘れず、地域の皆さまにご安心いただけるよう日々の業務に取り組んでまいります。



所長付 渡邊 修  
(富岡町出身)

## 発電所構内の空間線量

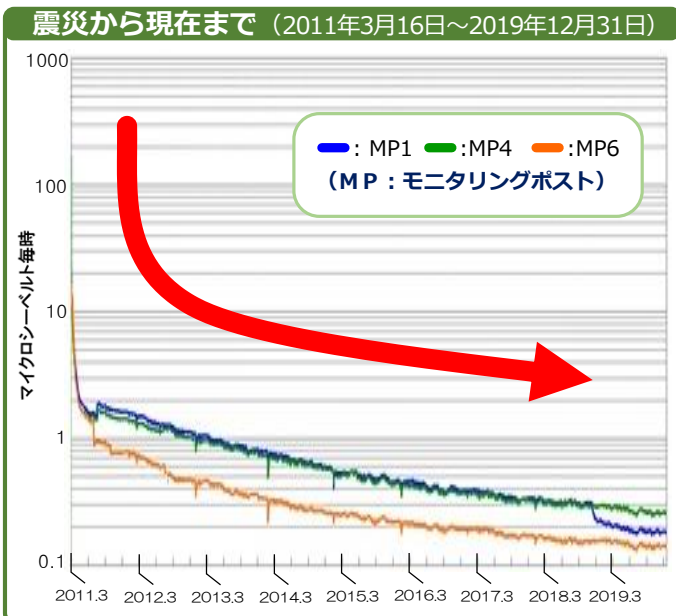
(単位はマイクロシーベルト毎時)

### 発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2020年1月27日 時点

0.09 [MP7] ~ 0.28 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向



### 参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

#### 発電所周辺町村の空間線量

|                |             |     |             |
|----------------|-------------|-----|-------------|
| 富岡町 (柳瀬困難区域含む) | 0.07 ~ 1.75 | 楢葉町 | 0.04 ~ 0.22 |
| 広野町            | 0.05 ~ 0.16 | 川内村 | 0.05 ~ 0.26 |

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2020年1月27日 時点)

#### 世界の主要都市の空間線量

|               |      |               |      |
|---------------|------|---------------|------|
| ロサンゼルス (アメリカ) | 0.10 | ソウル (韓国)      | 0.12 |
| 上海 (中国)       | 0.59 | ロッテルダム (オランダ) | 0.33 |

出典: 福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

## 燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 2,534体 | 2,482体 | 2,544体 | 2,516体 |
| 1号機    | 2号機    | 3号機    | 4号機    |

# 連携を大切に消火訓練を実施しています

当所では、火災が発生した際の初動対応を迅速・確実に行えるよう、自衛消防隊を組織し、日頃より訓練に取り組んでいます。

今回、自衛消防隊組織内の迅速な情報共有、連携した消火・救出活動を行えることを目的とした、訓練を実施しています（訓練期間：2019年11月～2020年2月）。

訓練では、建物火災を想定し、当直長の出動指示から消防車による放水、建物内に閉じ込められた被災者の救出までの消火・救出活動を展開しました。

引き続き訓練を重ね、火災発生時の対応力の維持・向上に努めてまいります。



被災者救出に向けた作戦・指示



火災現場からの被災者（人形）救出



委託自衛消防隊による援護放水

## 迅速な初期消火に向けて

火災発生の際は、発電所に24時間常駐している運転員や委託自衛消防隊のほか、事務所員が初期消火要員として現場へ駆けつけ、消火作業、人命救助、公設消防署員の誘導・情報提供等を連携して行います。

## 発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,376人※です。（2019年12月1日現在）  
※1日あたりの入構者数は約1,000人

|    | 東京電力HD | 協力企業   | 合計           |
|----|--------|--------|--------------|
| 県内 | 380人   | 1,661人 | 2,041人（86%）  |
| 県外 | 61人    | 274人   | 335人（14%）    |
| 合計 | 441人   | 1,935人 | 2,376人（100%） |

## 編集後記

この広報紙が皆さまのお手元に届く頃、東日本大震災から9年を迎えます。私は震災の翌月に入社しましたが、同じように震災後に入社した社員が当時の状況についてしっかり理解し、福島復興への強い思いを持つためにも、今回ご紹介した「福島原子力事故の反省と教訓を風化させない取り組み」はとても重要だと思います。

これからも地域の皆さま、そして福島県内外の皆さまへ広く、分かりやすい情報発信ができるよう、努めてまいります。【花】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃炉作業を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の  
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー  
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12  
Tel 0240-25-1353（受付時間（平日）午前9時～午後5時）  
fuku2kouhou@tepco.co.jp（受信専用）